

事務事業名		研究会講師派遣事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目		
	施策名	27 義務教育の充実		☐ 単年度のみ		会計 款 項 目 事業		
	基本事業名	02 生涯学習の基礎を培う教育の推進		☒ 単年度繰返 (開始 ー 年度～)		01 10 01 03 06		
根拠法令				☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度				
所属	部課名	教育委員会事務局 教育研究所		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入				
	課長名	千田 晃一						
	係名							
	担当者	吉田 武雄						
		電話	0192-27-3111					
		内線	264					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本事業は、各学校の校内研究の充実と授業の質の向上のため、専門的な知識・技術を有する指導者を派遣するものである。(各校からの派遣要請により、指導者を要請のあった学校へ派遣する。) 事業費の内訳は、旅費である。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
総投入量 (千円)						事業費	国庫支出金	
						内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数							
	延べ業務時間							
	人件費計(B)	0						
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位	
小・中学校の校内研究会への指導主事の派遣		ア	派遣の回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
小・中学校教員		名称 単位	
		カ	小・中学校教員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
教員が、「わかる授業」を実施する。 ※平成25年度まで実施していた「児童・生徒の意識調査」が廃止になったため、 「岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査(小5国語・算数、中2国語・数学)」による成果をみる。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
個性が生かされる。		名称 単位	
		サ	児童への質問紙(国語・算数の授業の内容はよくわかりますか…当てはまる、どちらかと言えばそう思う)によって成果をみる。 %
		シ	生徒への質問紙(国語・数学の授業の内容はよくわかりますか…当てはまる、どちらかと言えばそう思う)によって成果をみる。 %
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	23	30	17	13	9	30
		事業費計（A）	千 円	23	30	17	13	9	30
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	10	5	5	5	5	5
		人件費計（B）	千 円	40	20	20	20	20	20
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	63	50	37	33	29	50
⑤活動指標		ア	回	72	47	70	47	47	47
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	285	281	279	281	280	280
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	%	87.0	85.7	89.9	87.5	89.0	89.0
		シ	%	77.6	73.5	80.4	77.0	80.0	80.0
		ス							

事務事業ID	0926	事務事業名	研究会講師派遣事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

教員の授業力の向上を図ることがきっかけとなり、本事業が開始した。(開始年度: 不明)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

各学校からの指導主事派遣要請(教員の授業力の向上を図るため、指導主事の派遣を学校が教育事務所・教育委員会に要請する。)が増加している。特に学力低下問題が取り上げられて以降、急増している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

保護者から、児童生徒の個性をいかした授業を望む要望が寄せられている。また、当市教育委員会や県教育委員会も学力向上を重点項目に掲げている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	教員が児童生徒の個性を生かした授業を展開できるようになれば、それに伴い児童生徒の学ぶ心は醸成される。児童生徒の学ぶ心は、市民憲章「学ぶ心を大切に、香り高い文化のまちをそだてます。」の実現に欠かせない事項であるので、本事業は当市の政策体系に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	教員が、児童生徒の個性を生かした授業を展開できるようになることは、児童生徒の学ぶ心が醸成されることにつながる。児童生徒のためになることの他に、その家族・保護者のためにもなることを考えると、税金を投入して達成する目的であるといえる。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	この事業は、教員以外には必要性の低いものなので、対象は、小・中学校教員に限定するべきである。また、児童生徒の学ぶ心の十分な育成のためにも、意図の拡充は必要ない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	各小中学校で、熱心な校内研究が推進されており、一定の成果をおさめているが、さらなる充実を図ることが必要である。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	小学校では小規模校が増加し、中学校でも、1校に同じ学年や同じ教科を担当する教員が複数いる学校が少ない中、指導主事を交えた研究会は是非必要である。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	校内研究会にかかわる研究会は他にない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	各小中学校で開催される校内研究会のうち、指導主事を招聘して行われる研究会は全体の3分の1程度である。事業費の内訳は、指導主事の旅費であり、招聘回数を減らすと研究会の内容がさらに薄れてしまう。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	これ以上の削減はできない。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	この事務事業の受益者は特定できないし、特定できたとしても学校関係者の研究の推進は行政のコストとして負担するのが妥当である。	

事務事業ID	0926	事務事業名	研究会講師派遣事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 全国的に学力の向上が重点項目に取り上げられており、校内研究会の充実是非常に重要である。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状維持。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 校内研究会が充実する工夫を研究主任(各学校)が中心となっていく。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	学校教育課長 千田 晃一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な執行がなされている。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 指導主事等の講師派遣回数が少ないが、少ないなりに成果があがるよう研究会の工夫が必要である。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
